

平成20年度各会計別歳入歳出決算額(財産区会計を除く)
(単位：千円、%)

区 分	歳 入		歳 出	
	決 算 額	前年度比	決 算 額	前年度比
一 般 会 計	41,235,180	2.54	40,667,631	2.73
特 別 会 計				
国民健康保険事業	8,211,267	△5.90	8,261,097	△4.78
下水道事業	2,875,896	△19.89	2,858,225	△19.70
公共用地取得費	5,022,830	441.38	5,018,670	501.37
都市再開発事業	58,271	12.91	18,926	2.08
老人保健医療事業	804,232	△89.78	825,517	△89.60
駐車場事業	318,242	2.94	317,728	2.95
介護保険事業	5,773,056	3.65	5,736,740	4.00
宅地造成事業	749,278	△36.42	690,778	△41.39
後期高齢者医療事業	1,260,581	-	1,247,846	-
合 計	66,308,833	△44.65	65,643,158	△44.49

閉会中に決算特別委員会で集中審査
平成20年度各会計決算を賛成多数で認定

9月定例会で提案があり、閉会中に審査を行いました平成20年度各会計決算の認定議案は、11月30日(月)の本会議で、徳田直彦決算特別委員長から審査結果報告を受け、表決を行った結果、賛成多数で認定しました。審査の中で出された意見、要望の一部をお知らせします。

- ・ 高齢者バス運賃助成は、阪急バス沿線から外れている人への対応を
- ・ すくすく学級の予算が削られたりすることがないよう
- ・ 衛生費では健康増進・食育推進計画ではこころの健康確保のために自殺防止対策も必要
- ・ 市民マナー条例は、今のままでもよいのかどうかも含めて、いろいろな方向性の模索を
- ・ 多重債務者対策は、各課が連携して庁内における横断的な対応を
- ・ 土木費では総合公園の建設費の支払い状況や今後の計画など市民に分かりやすい情報公開を
- ・ 公営住宅入居後も、生活環境の変化等を把握し、入居者の生活状況に即した運用を
- ・ 山手幹線の四車線化は中止し、二車線運用を検討する時である
- ・ キャンパルクとその周辺緑地や護岸の清掃の徹底を
- ・ 公益灯は、低炭素社会に向けてLED防犯灯への切り替えを
- ・ 消防費では防災総合訓練は、市民の安心と安全につながるよう継続して訓練を
- ・ 教育費では学校・園の空調設備導入について、季節による気温変化も勉強である。適正な運用を
- ・ 留守家庭児童会は、指導員の増員と待遇改善、早急な施設整備の実施を
- ・ 図書館は、公共図書館としての役割と文化の拠点としての役割を果たしてほしい
- ・ 国民健康保険事業特別会計では不況で滞納世帯が増えている。高校生を含む保険証未交付世帯にも短期保険証を発行すべき
- ・ 介護保険事業特別会計では介護保険制度は、内容の改定が多い、利用者に十分なサービスを提供できているのか
- ・ 介護保険料を払うことができない高齢者の実態を把握し、生活支援も含めた対応を
- ・ 高齢者生活支援センターは、事業内容に見合うよう委託料の増額を

- ・ 総務費では市職員のメンタルヘルス対策は、回復のためのサポートと職場環境の改善を
- ・ コミュニティバスの実現が困難であれば、市内公共交通の充実を
- ・ 自治会連合会運営補助金は自治会の発展につながる形での工夫を
- ・ 民生費では生活保護ケースワーカーの人数を増加し、保護するだけでなく、自立できる支援策の強化を
- ・ 新型インフルエンザの影響で休みとした福祉施設への損失補てんを
- ・ 障がい者の各団体に出ている補助金および交付金は少なすぎる。国への要望とあわせて、市の独自施策の充実を
- ・ 低収入の父子家庭に、市から児童扶養手当の支給を

可決した意見書(抜粋)

阪神地域の市民の生命と財産を守る六甲山系砂防整備事業の推進に関する意見書
六甲山系山麓部は、200万人を超える住民の生命と財産が存するばかりか、重要公共交通機関が東西に走る国の重要地域でもある。
しかしながら、六甲山系の砂防整備事業は、まだ整備すべき箇所が数多くあり、国の責任のもと、引き続き整備、維持管理を行う必要がある。
よって、本市議会は、国において、より安全・安心の住民サービスの提供を求め、大きな役割を果たしてきた六甲砂防事務所の安易な統廃合を行わないよう下記事項を強く要望する。
記
1 公共事業予算を、防災、生活関連、維持管理に重点配分するとともに、六甲山系の砂防事業において、災害時でも迅速に対応できる体制を確立すること。
2 六甲山系砂防整備(防災)事業を、国の責任において実施すること。そのため、六甲砂防事務所を存続させること。
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書
深刻な多重債務問題を解決するため平成18年12月に改正貸金業法が成立し、出資法の上限金利の引き下げ、収入の3分の1を超える過剰貸付契約の禁止(総量規制)などを含む同法が完全施行される予定である。
しかし、改正貸金業法の完全施行の先延ばし、金利規制などの貸金業者に対する規制の緩和は、再び自殺者や自己破産者、多重債務者の急増を招きかねず許されるべきではない。今、多重債務者のために必要とされる施策は、相談体制の拡充、セーフティネット貸付の充実及びヤミ金融の撲滅などである。
よって、本市議会は、政府におかれては、下記の措置を早急に講ずるよう強く要望する。
記
1 改正貸金業法を早期に完全施行すること。
2 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。
3 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
4 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(金融)、内閣府特命担当大臣(消費者)

付議事件の審議結果

議案番号欄「議提」とあるのは、議員提出議案		
議案番号	件 名	結 果
市 長 提 出 議 案	100 20年度各会計決算の認定について	認 定(11/30)
	報5 21年度一般会計補正予算(第4号)	承 認(12/18)
	報6 和解について	承 認(12/18)
	101 西田房子福祉基金条例の制定	可 決(12/18)
	102 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正	可 決(12/18)
	103 自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可 決(12/18)
	104 病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可 決(12/18)
	105 21年度一般会計補正予算(第5号)	可 決(12/18)
	106 21年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可 決(12/18)
	107 21年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可 決(12/18)
	108 21年度病院事業会計補正予算(第1号)	可 決(12/18)
	109 阪神広域行政圏協議会規約を廃止する規約に関する協議	可 決(12/18)
	110 あしや市民活動センターの指定管理者の指定	可 決(12/18)
	111	
	115 訴えの提起について	可 決(12/18)
	116 一般職の給与条例及び一般職の給与条例等の一部改正条例の一部改正	可 決(12/18)
議 提	27 六甲山系砂防整備事業の推進に関する意見書	可 決(12/18)
	28 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	可 決(12/18)
請 願	20 六甲山系砂防整備事業の推進についての請願書	採 扱(12/18)
	28 非核三原則の法制化を求める決議・意見書採扱の請願	不採扱(12/18)
	29 芦屋大原町マンション計画説明会継続に関する請願書	採 扱(12/18)

陳情の委員会審査結果

陳情番号	件 名	審査を行った委員会	結 果
17	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書に関する要望書	総 務 常 任 委 員 会	採 扱(12/3)

議員研修会を開催しました



播磨科学公園都市で

平成21年11月19日(木)に、議員研修会として、播磨科学公園都市を視察しました。播磨科学公園都市PR館「オプトピア」の浦上好央所長から、公園都市の概要について説明を受けた後「粒子線医療センター」、「西播磨リハビリテーションセンター」などの医療施設、「大型放射光施設Spring-8」を核とした研究施設を視察し、各施設の機能や事業内容などについても説明を受けました。

本会議をインターネット中継

芦屋市議会では「市民に開かれた議会」をより一層推進するため、本会議の映像をインターネットで配信しています。
インターネット配信による議会中継は、議場で行われている議会審議の様子をインターネット上でリアルタイムに配信する「ライブ中継」と収録した映像を検索し閲覧できる「録画中継」があります。「録画中継」は、概ね1週間後からご覧いただくことができます。

ホームページアドレス <http://www.city.ashiya.hyogo.jp/gikai/>